

蕨市音楽家協会

バロック音楽をあなたに - クリスマス スペシャル -

2020年12月6日 (日)

14:00 開演 (13:00開場)

全席自由 一般 1,500円

高校生以下 500円

未就学児の入場は遠慮ください。



前田有文字(FI.)



小林瑞希(A.Sax.)



松崎義一郎(Bsn.)



遠藤理史(Pf.)

～PROGRAM～

J.J.クヴァンツ トリオソナタ ハ短調 J.J.QUANTS-Trio Sonata c minor
バロック音楽のお話ーヘンデル フルートソナタをテキストに
J.S.バッハー 無伴奏組曲 1番 ト長調 BWV1007 J.S.BACH -Suite for solo instrument G major
平均律クラヴィーア曲集第1巻第1番ハ長調 Well Tempered Clavier Book1.No.1
A.ヴィヴァルディ コンチェルト ト短調 F. X II N.4 A.VIVALDI Concerto g minor
クリスマスソング アラカルト 他

※プログラムは変更になる場合がございます。

チケット取扱い/くるる・蕨市民会館 10/2発売
蕨市立文化ホールくるる 048-446-8311

JR蕨駅西口より 3分、線路沿い。駐車場はございません。
この公演は、(一財)蕨市施設管理公社の助成により成り立っています。

主催/蕨市立文化ホールくるる
共催/蕨市・蕨市教育委員会
制作/蕨市音楽家協会



蕨市田楽茶飲食組合
<http://warabi-t.net>

チケット半券でサービスが受けられます。



感染症拡大防止のため、90席限定。前後左右を空けた席配置です。ゆったりとお楽しみください。
感染防止対策をお願いいたします。

○チケット販売の際に、氏名・緊急連絡先のご提供をお願いします。

○発熱、風邪症状のある方は入場できません。○社会的距離を保ち、大きな声での会話はお控えください。

○マスク着用、手指消毒をお願いします。○出演者へのプレゼント、差し入れ等はお控えください。

○入場前の混雑を避けるため、13:00以降のご来館にご協力ください。

—原点回帰—

早いもので、私がバスーン(英語でバスーン、ドイツ語イタリア語等はファゴット)を始めてから50年以上になりました。その間、幾度となく頂いたのが、「何でバスーンを始めたの?」というご質問。その都度「なんとなく〜」とか、「密かに目立ちたいから〜」と謎を残したりしてきました。今こそ、真実を!と言うほどでもありませんが、実は「バロック音楽」に興味があったのです。

この音楽の特徴のひとつに「通奏低音」と呼ばれる声部があります。チェンバロ等の鍵盤楽器の左手と同じ音を演奏するパートで、バスーンやチェロ、ヴィオラダガンバ等が受け持っています。メロディはフルートやオーボエ、ヴァイオリン。こういったソロ楽器を自分の手のひらの上で踊らせる喜び、ここがツボだったんです。

オーケストラや吹奏楽の大編制楽器群で大人数のお客様に向けて演奏する魅力、迫力、もちろん嫌いではありません。お仕事としてもアメリカのオーケストラやロシア、ウクライナ、そして日本国内の数多くのオーケストラで演奏してきました。むしろそういった演奏がメインでした。

バロック音楽は、もともと限られた上流階級のパトロンのために、小さなサロンで演奏されていた音楽。くるるでの開催はちょうど良い雰囲気だと思います。

私が立案企画したバロック音楽だけのコンサートは今回が初めてです。通奏低音を演奏しているだけだと、音楽の主導権を主張するのは難しいと思っていたから。最近になって、蕨で出会ったプリマドンナたちを手のひらの上で自由に踊らせたくなってきました。

本日、オリジナルのバロック音楽では出てこない楽器を編成に加えてあります。—サクソフォーンが発明、特許申請されたのは1846年。バロック期から200年以上経っています。謂わばとても新しい楽器です。その分とても完成度は高く可能性も大きいと思います。

バロック期からあるフルートと新しいプリマドンナーサククス、蕨だけのサウンド、季節のお楽しみクリスマス曲もご一緒にどうぞ。

松崎義一郎 (バスーンリスト)

前田 有文字 Yufuko Maeda [Fl.]

武蔵野音楽大学卒業後、パリ市立音楽院留学。審査員満場一致の一等賞を得て卒業。プラハの春国際音楽コンクールにてディプロマ賞を受賞。東京フルートアンサンブルアカデミーメンバー。演奏活動の他に生涯学習としてフルートを楽しむ人達に指導を行い、好評を得ている。メイプルフルートアンサンブル、フルートアンサンブルわらび、フルートアンサンブルユフコ指導者。蕨市音楽家協会会員。

小林 瑞希 Mizuki Kobayashi [A.Sax.]

洗足学園音楽大学卒業。大学在学中は毎年特別選抜演奏者に認定され、前田記念奨学金も2度得る。オーディション選出ソリストによる「管弦打コンチェルトの夕べ」に出演。2018年、サクサコールとして1stアルバム「ロシアンマスターピース(レコード芸術特選盤)」をリリース。蕨市音楽家協会会員。

松崎 義一郎 Yoshiichiro Matsuzaki [Bsn.]

東京都出身、大阪芸術大学卒業後、桐朋学園にオーケストラ研究生として入学。米国フィラデルフィア音楽院、ニューイングランド音楽院大学院留学。日本ファゴット協会監事。蕨市音楽家協会会長。 <http://www.bassoonforyou.com/>

遠藤 理史 Masashi Endo [Pf.]

蕨市立南小学校、第一中学校を経て、東京音楽大学ピアノ専攻卒業。実技の卒業試験において次席を獲得。卒業演奏会に出演する。これまでに七回のリサイタルを開催。ソプラノの故・丸山富士江氏と七回のジョイントコンサートを開催する。蕨市音楽家協会会員。女声合唱団Mion・正ピアノリスト。蕨男声合唱団・練習ピアノリスト。次回の「川口ぞうれっしや合唱団」のピアノリストを務める。